

組合員の“困ったな”を みんなの力で解決!

自己改革
取組み中!

野菜の作り方を
教えたり
作った野菜を
売ったり

食と農と緑を守り
地域のために!

※組合員の声を聴き、ニーズに応えるため、
これまでのやり方を工夫・見直し取組み

お金を
預かったり
貸したり



病気とか
もしもの備えを
いっしょに
考えたり

- I JAってなあに
- II 組合員の「困ったな」を解決
- III 「地域・協同活動の活性化」
- IV 中期3カ年経営計画の実践による自己改革の取組み
- 農業所得向上に向けた取組み経過

しい、好、み、り、好、笑、顔、テ、ス、ク、ラ、い
JAおいらせ

I JAってなあに



一人はみんなのために
みんなは一人のために



Q. JAの使命ってなに?

A. 組合員の「困ったな」を解決すること
農業経営や日々の暮らしにはいろんな「困ったな」がいっぱい。JAは組合員の「困ったな」を解決するために活動してきました。それはJAが協同組合だからです。

Q. JAを作り・利用・運営するのは誰?

A. 組合員です。
JAを1つの店に例えると、組合員は店を立てる際の出資者でありながら、その店の利用者であり、経営者にもなります。

Q. 「協同組合」は どうして生まれたの?

A. 小規模な生産者（農業者、漁業者など）が力を合わせることで資本力のある企業と対等に取引し、自分たちの暮らしを守るために生まれました。



Q. JAって、どんな仕事を しているの?

A. JAは、営農指導・農産物の販売・購買（生産資材の共同購入）・信用（銀行）・共済（保険）など多くの事業を組合員に「総合事業」として、一体的に提供しています。
信用・共済事業は、「総合事業」としての強みが発揮できる事業で、JAに欠かせないものとなっています。

Q. JAの自己改革ってなに?

A. そもそもJAは組合員のもです。
JAの運営は組合員が参加し、組合員の営農とくらしを守るため「自主的な改革」を通じて、組合員の「困ったな」を解決していきます。

Q. 株式会社とどこが違うの?



協同組合



株式会社

お互いに助け合うことで組合員の営農とくらしを守り向上させることが目的です。

利益をあげて投資家に配当することが目的です。

JAは組合員が助け合う組織です。
JAの剰余金は、地域農業振興のための営農指導や施設投資など、みんなのために使われています。



皆様の営農やくらしを守るため
皆様の声をお届けください

II 組合員の「困ったな」を解決

組合員の営農とくらしには「困ったな」がいっぱい

- 農畜産物が高く売れない
- 買い叩かれる
- 有利な価格で仕入れたい



一人ひとりでは解決できない「困ったな」をみんなの力で解決



共同販売・共同購入



技術の向上のための営農指導



農作業受託の引き受け



共同施設の設置

- 栽培方法が分からない
- 営農技術が高まらない



- 高齢化、後継者不在、労働力不足で、農作業をちょっと手伝ってほしい
- 規模を拡大したいが、出荷作業に手が回らない

- 資金が足りない
- 貯金をしたい



- 不慮の事故や自然災害が心配



JAバンク



JA共済

III 「地域・協同活動の活性化」



JAおいらせは、地域の皆様と一緒にこれあいのための活動を展開しています。当JAのこれまでの活動を紹介します。各イベントについては新聞折り込みやJAホームページで随時ご案内しております。

女性の積極的な社会参加、活躍を応援！

「ママとキッズの親子DEワークショップ」開催

仕事や家事、子育てで忙しい農家女性に子どもと一緒に過ごす時間や息抜きの場として親子で楽しむワークショップを開いています。



交通安全の意識を育む

JA共済 アンパンマン交通安全キャラバン

JA共済アンパンマン交通安全キャラバンでは、小さなお子様を対象に、アンパンマンと一緒に歌って踊って楽しく交通ルールを学びます。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

年金友の会

健康でいきいき



JAおいらせの貯金口座で年金受取をしている約3000人の会員の皆様と会員相互の親睦を図り、楽しく活動しています。グラウンドゴルフ大会といった趣味を通じた健康づくりや毎年2月にはショーや演芸などを楽しんでいた「年金友の会総会」を開催しています。

地元農産物の販売体験

春休み・夏休み わくわく探検隊

三沢市、六戸町の小学生を対象に1泊2日の日程で、消費地の直売所で当JA組合員の生産した長いもや黒にんにくのPR販売をしています。平成30年度は千葉県や秋田県のJA農産物直売所で対面販売を行いました。



地元農産物をPR

地域イベントに出店



青年部、女性組織がみさわ港まつりや地産地消フェア、あくのへいブルタウンフェスタに出店し、手作り串もちやごぼううどん、手作り加工品を通じて特産品のPR販売をしています。

親子で食と農の大切さを学ぶ

ちゃくりんフェスタ



「ちゃくりんフェスタ」を8月に開催しています。じゃがいもとブルーベリー収穫、特産野菜を使った昼食作りなど、親子で楽しく農業を学ぶ体験イベントです。
※「ちゃくりん」は家の光協会発刊の小学生向け雑誌の名称です。

農業を体験！
地域の子もたちへの食農教育、
選果施設見学の受入れ



管内の保育園、小・中学校へ、青年部員や女性部員、JA指導員が植え付けから収穫を手伝い、地元で作られる米や野菜を学び、食と農業への理解をすすめています。
また、選果施設の見学も受け入れています。
(米作り) 三沢市立おおぞら小学校 (バケツ稲) 六戸町立六戸小学校、大曲小学校 (野菜作り) 六戸町立大曲小学校、開知小学校 (選果施設見学) 三沢市立岡三沢小学校、木崎野小学校、上久保小学校

地域の子もたちを応援！

JAおいらせ杯
少年少女スポーツ大会



春と秋の年2回、少年野球と女子バレーボール大会を開いています。上位入賞チームには、地元産米「まっしぐら」を贈っています。

IV

中期3カ年経営計画の実践による自己改革の取組み (H29~)

JAでは、「農業者の所得増大、農業生産の拡大」「地域・協同活動の活性化」「結びつき・経営基盤の強化」の3つの基本目標を掲げ、自己改革に取組みをすすめています。

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大

<重点施策>

①地域の担い手の育成と支援・強化

重点実施事項	具体的な取組
担い手経営体 多様な担い手の育成強化	作業受託の拡大
	TAC活動による担い手ニーズ把握
	今後の地域農業を担う若手農業者との交流・情報交換



常勤役員とTAC担当者による担い手農家の訪問活動

②安全・安心な農畜産物の安定生産

「おいらせブランド」の確立	生産工程管理 (GAP) の導入とトレサビリティーの徹底 残留農薬検査の実施 →GAP指導員の養成と分析費用の助成
	実需に応じた契約栽培
	消費地での消費宣伝活動の実施
	特産品語合わせ「もっこりセット」 大玉にんにく「匠にんにく」の販売促進



契約キャベツ栽培

③生産・販売戦略策定による産地づくり

部会組織の活性化と 計画生産販売体制の確立	部会活性化による系統共販率の向上
	農産物登録制度による計画生産販売体制の確立

④労働力不足解消による産地維持

外国人実習生・無料職業紹介事業	作業受託事業の拡大
	農業技能実習生の受入れ
	無料職業紹介事業を活用した労働力支援



にんにく収穫作業受託労働力の費用面で負担軽減

2. 地域・協同活動の活性化

<重点施策>

①くらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化

重点実施事項	具体的な取組
(1) 食育・食農教育の充実強化青年部・女性部の協力を得て小学校と連携した稲・野菜の作付け収穫体験学習を実施します。 	・バケツ稲、田植え、稲刈り収穫体験 ・野菜の植付け、収穫体験 ・ちやぐりんフェスタの開催（じゃがいも・ブルーベリー収穫体験） ・バター作り体験（JAまつり・メイプルタウンフェスタ） ・ハロウィーンかぼちゃを作ろうイベント
(2) JAくらしの活動の実践	福祉施設の慰問活動
(3) 員外次世代への「JA」のPR	行政サイドと連携したJAまつりの企画（みさわ地産地消フェア・六興祭）



食育・食農教育の充実


②金融・共済サービスの強化による取引基盤の拡充

(1) 農業・生活メインバンク機能の強化	・次世代層・新規利用者への給与振込口座指定、決済機能のセット推進によるメイン化促進
(2) ひと・いえ・くるまの総合保障の拡大	・全戸訪問による世帯内深耕と地域全体への保障拡充 ・次世代、ニューパートナー拡大対策による子育て世代の接点強化を図る活動強化

3. 結びつき・経営基盤の強化

<重点施策>

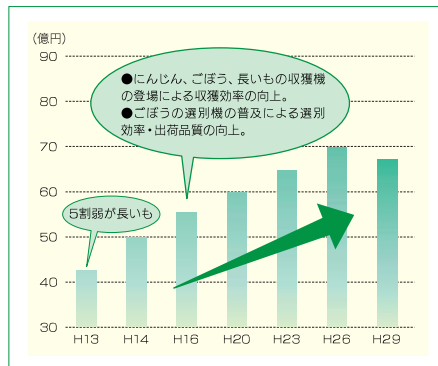
①結びつき強化による協同活動の活性化

(1) 下部組織との交流を積極的に図り、地域・組合員・住民との結びつきの強化	青年部・女性部・後継者等との交流会開催 
(2) 地域農業とJA活動への理解醸成	・広報誌「SCRUM」の発行 ・地域住民向けコミュニティ誌の発行

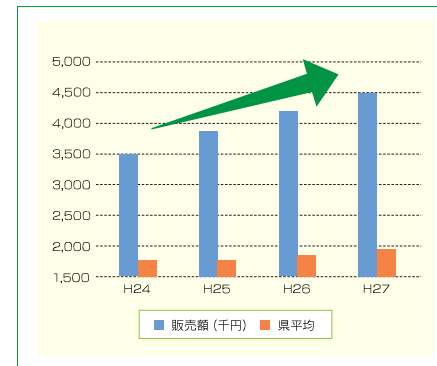
青年部とJA職員との交流会

農業所得向上に向けた取組み経過

■やさい販売額の推移



■一正組合員当たりの販売品販売額



■施設の充実

年月	内容
H15. 3	にんにく冷蔵貯蔵施設
H18.11	長いも洗浄選別・貯蔵施設
H20.11	ごぼう冷蔵貯蔵施設
H24. 7	にんじん洗浄選果施設

■利用事業（受託作業事業）

項目	内容
にんじんの収穫作業	出荷登録の約90% 110ha⇒190ha
無人ヘリコプター（防除）	●水 稲（H10年度～） 1,354ha ●長いも（H28年度～） 125ha

■労働力支援

- ・外国人技能実習生の受け入れ
- ・無料職業紹介事業を活用した支援

■購買事業（生産資材）に係る所得向上支援

1. 計画購買による生産資材の安価供給
 - 定期的な予約注文の取りまとめによる、計画的な購買を推進し安価供給を実施。
2. 予約注文書の充実（各品目の写真を掲載）
 - 肥料→作物ごとに生産者の作業内容に応じて、複数のタイプをセット肥料として掲載。
 - 防除薬剤→作業時期ごとに使用薬剤、使用方法を掲載。
※肥料、農薬の使い方の手引書となり、窓口対応の向上にもつなげている。
3. 予約注文による購買未収金の決済
 - 12月末まで無利息。
 - また、早期支払価格を設定し、予約注文肥料の早期の代金支払いには、予約未収価格より低い単価を設定。
4. 大口利用者への助成
 - 農業資材（肥料、農業、ダンボール、種子）の大口利用者への助成措置。
5. 肥料引取りの値引き
 - 予約注文肥料の早期引取りで、予約価格より値引きを実施。
 - 予約、当用に限らず、組合員が自分で運搬する場合には、値引きを実施。

予約注文書の充実 例

JAでは、今後も組合員・地域の皆さまの期待に応えられるよう、農業と地域活性化に向け、取組みを進めてまいります。